

サイクリングツアーによる“まちなか”と“中山間地の魅力発見！”
～大学生・留学生・地元住民との協働をとおして～



学生チャレンジ！！ 公共レンタサイクル「まちなり」を活用したサイクリングツアー企画

◇コンセプト

・本取組みでは金沢公共レンタサイクル「まちなり」を活用した地域づくりを目指し、2つのサイクリングツアーを企画・実施しました。
・ツアーの企画運営は学生(金沢星稜大学)、NPO(地球の友・金沢)、企業((株)日本海コンサルタント)、地域(直江谷)が連携・協働して実施しました。



「まちなり」を“複合的な社会課題の解決に貢献するプラットフォーム”と位置付け、公共的価値を高め続けることを目指しています。



◇直江谷サイクリングツアー

【目的】中山間地域である直江谷の魅力再発見
【開催日】平成29年10月8日(日)
【コース】金沢駅～直江谷の全長約34kmのコース
旧北国街道の歴史的な街並み、直江谷の宝乗寺、隠れ家的名店、「どんぐりとガラスの里まつり」(同日開催)など地元スポットを巡るコース
【使用する自転車】金沢レンタサイクル「まちなり」の電動アシスト車※持込みも可
【広告方法】ホームページ、チラシ、Facebookなど
【参加人数】参加者11名、スタッフ7名 合計18名
【参加費】2,000円/人(自転車レンタル代、保険代込み)



【特別企画】
「どんぐりとガラスの里まつり」にて電動アシスト車の試乗体験会を同時開催(14名が体験)



◇ツアー参加者へのアンケート結果からみえた成果と課題

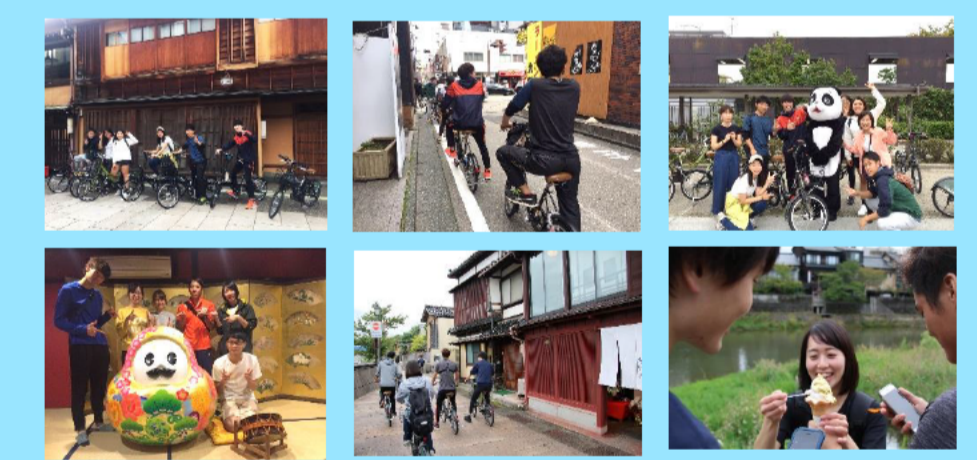
【成果】
・昨年に続きツアー全体の評価が非常に高かった。
→参加者にとって満足度の高い企画を行うことができた。
・参加者全員にまた直江谷に来たいと思ってもらうことができた。
→直江谷の魅力に参加者に伝えることができた。
・現地での自転車試乗会で地元の人にも自転車の楽しさを知ってもらえた。
→自転車から見た風景は、地元住民の地域の魅力再発見につながった。
【課題】
・大勢で走行する際、列が長くなるため少数の班分けをした方がよかった。
・コース中で土地のいわれや歴史などを説明するスポットを増やしてもよかった。
・参加者間の交流がもっとできる機会があるとよい。

◇ツアー企画・運営への参画を通じて(学生コメント)

・今回のサイクリングツアーで感じたことは、サイクリングは地域の魅力を発見するのに最適であるということです。実際に身体を動かすことで自然や魅力を感じやすいと思いました。また学生が参加することで交流の幅が広がり、たくさんの視点から地域と関わることで新しい魅力発見ができたのではないかと思います。(4年 川原聖士)
・今回このような企画の運営に携わらせて頂き、自分自身、自転車の交通ルールを楽しみながら学び、金沢のまちなかや旅行先での移動手段に“自転車”の選択肢が増えました。留学生はもちろん、石川県に住む学生が金沢の魅力を感じられるツアーにできたことを嬉しく思います。貴重な経験をさせていただきました。(4年 田中慎乃)

◇学生・留学生によるまちなかサイクリング

【概要】
学生および留学生を対象に、金沢市内の「まちなかサイクリングツアー」を実施。
【目的】
①金沢市内を自転車に走る事で見えてくる「観光スポット」ではない、まちなかの魅力の発見、再確認。
②学生や留学生向けの、体験を通し、まちなかを楽しく走行しながら、自転車の交通安全教育を行う。
【開催日】平成29年10月7日(土)
【コース】①西茶屋街コース
②東茶屋街コース
③21世紀美術館・兼六園コース
【使用する自転車】金沢レンタサイクル「まちなり」の自転車、電動アシスト車
【参加人数】24名(金沢星稜大学スポーツ学科生13名、留学生6名、スタッフ5名)



◇ツアー参加者へのアンケート結果からみえた成果と課題

【成果】
・今回のツアー企画がきっかけとなり、日本人学生と留学生との交流の機会が生まれたことは一つの成果となった。
・地元出身者でも知らないスポットがたくさんあり、新しい発見があった。
・自転車の交通ルールを実際に走行しながら楽しく学ぶ事が出来た。
【課題】
・参加者の体力レベルに応じたチーム分け・コース設定を行う。
・学生と留学生の交流が促進されるような内容の工夫を行う。